



## 街中に湿地？ ～天下茶屋湿地の紹介～

天下茶屋近くの空き地にヨシ群落がある、という話を伺ったのは2012年のことでした。ヨシは都市部では公園の池の周りでよく見かけるけど、空き地に？と最初は不思議に思っていました。その場所は西成区の路地の奥に入ったところにありました。フェンスで囲まれています、確かに遠目にもヨシ群落があります。そして、中に入ってみて驚きました。単なる空き地ではなく、水がわき出ており、湿地になっていたのです（口絵VII-8、図7-5）。水深は10cmから15cm程度の場所が多いのですが、崖のすぐ近くが最も深く、水深50cm程度はありました。植生としては、水がある場所はヨシが中心となっており、それに混じってガマ属も見られます。水が溜まっていないやや乾燥したところには、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク（口絵V-1・C）、ヒメジョオン（口絵V-1・D）など普通の空き地に生育するような植物が見られました。

この場所は、上町台地の端に位置し、崖のようになった急斜面の下にあります。大阪市内のボーリングコアの調査結果によると、この付近では地上近くまで粘土層が出てきており、このため湧水が出やすい状況になっているようでした。かつては上町台地沿いの海側に点々と池があり、水がわき出ていたということですが、現在ではこれらの池はほとんど水が枯れているようです。

2012年から2013年にかけて、季節を変えて何回か通い、詳細な植物相の調査を行いました。その結果、やや乾燥し水が溜まっていないところでは、周囲の路傍や空き地にみられる植物相と大きな違いはありませんでした。湿地部ではヨシが多く、その下にヒロハホウキギク、コウガイゼキショウ、イグサ、ホソイ、アメリカセンダングサ、タマガヤツリ、アイダクグ、コゴメガヤツリ、アメリカタカサブロウなど湿地環境を好む植物が多く見られました。興味深いのは、この狭い場所でガマ属が3種も確認されたことです。崖近くの水深のやや深い場所には、ヒメガマが群生していました。そこよりもやや高く湿っている場所には、ガマが見られました。また、同じように浅い湿地になっている場所には少ないながらコガマもありました。コガマ（図7-6）は大阪府レッドリストで準絶滅危惧に指定されており、市内では全く見ることができなくなっていますし、大阪府内でも生育地が限られます。こ



図7-5：空き地の奥には常ときれいな水がたまっている。

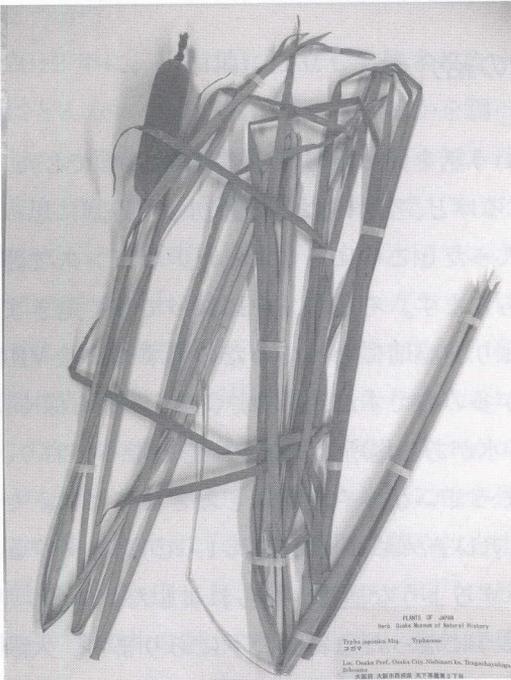


図 7-6：天下茶屋湿地で採集したコガマ。ガマよりも葉が細く、雄花群が雌花群に接しているのが特徴。

のほかに、スイレン属（外来種）もあり、常に水のある状態ということがわかりました。

これらの植物は昔からこの場所に自生していたものなのでしょうか？ 近所の方にお話を伺うと、ずっと空き地だったわけではなく、長屋が建てられていた時期もあったようです。コガマが意図的に植えられることは少ないと思いますが、他の植物を持ち込んだ際に、種子等が土について持ち込まれたものである可能性は否定できません。とはいえ、都市化が非常に進んだ大阪市内で、湧水により涵養されている湿地が小規模ながら残っていること自体驚くべきことで、非常に貴重な環境だと考えています。

<長谷川>

#### 4 ため池

ため池は水生生物にとって重要な生息環境です。ため池の本来の機能はかんがい用水の確保ですが、明治～昭和初期にかけて住宅地の確保が急務となった大阪では、水田とともにため池も埋め立てが進みました。また、戦後の都市整備の過程で、公園やグラウンドといった公共設備の用地としてもため池が使われました。それでも、大阪市内には公園の池としてため池が残された場所もあります。これは都市に残された自然の一つとあってよいでしょう。

大阪市内で池を持つ公園として、城北公園（旭区）、万代池公園（住吉区・口絵 VII-9）、長居公園（東住吉区・裏表紙）の池を例として見てみましょう（位置は 45 ページ図 2-17 参照）。万代池公園にある万代池は、上町台

地の浸食谷をせき止めて作ったと言われる非常に古い池で、明治時代の終わり頃までかんがい池として使われていました。少なくとも明治時代から現在に至るまで、その形はほとんど変わっていないようです。長居公園の植物園内にある大池と小池は、そのあたりにもともとあったいくつかの池を部分的に残し、1974 年の植物園開園時までには作られた新しい池です（裏表紙）。城北公園の大池は、明治時代後半の淀川改修工事で大きく南に湾曲していた淀川河道を北へ付替えた際、残された旧河道が元になってできた池です。現在は淀川からは独立しています。いずれの池も、人々の生活にうるおいや安らぎを与えています。

表 7-1 はそれらの池でみられる魚類です。共通してみられるのはコイ、フナ属、モツゴ、